

会議録

会 議 の 名 称	第3回あま市子ども読書活動推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和5年12月25日（月）午前9時30分から
開 催 場 所	あま市役所 2階 F会議室
内 容	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 協議事項</p> <p>（1）読書活動調査結果について</p> <p>（2）子どもの読書活動に関するアンケート調査結果について</p> <p>（3）第三次あま市子ども読書活動推進計画（素案）について</p> <p>（4）パブリックコメントについて</p> <p>（5）その他</p> <p>3 その他</p>
資 料	<p>資料1 読書活動調査結果</p> <p>資料2 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果</p> <p>資料3 第三次あま市子ども読書活動推進計画（素案）</p> <p>資料4 パブリックコメント手続について</p> <p>資料5 講演会の概要</p>
出 席 委 員	三輪昭子委員長、山口陽子副委員長、内藤美千代委員、糸野克好委員、鎌倉崇志委員、吉川史高委員、樋口誠史委員（代理）、林一史委員、寺澤直樹委員
欠 席 委 員	飯田奈々委員
事 務 局	<p>（教育委員会）</p> <p>伊藤克仁教育長</p> <p>（教育部生涯学習課）</p> <p>内山伸也課長、近藤博主幹、濱嶋直樹主幹、上村希美香主事</p>

## 委員会の経過

### 1 委員長あいさつ

### 2 協議事項

#### (1) 読書活動調査結果について

生涯学習課より説明

#### <質疑応答>

(委員) 名称が幼稚園となっている園が、アルファベット表記ではこども園となっている。これは正しいのか。

(事務局) この園は、名称は幼稚園となっているが区分は認定こども園のため、こども園と表記している。

(委員) 本の蔵書について、保育園や児童館も蔵書をもっているが、予算の関係で増やすことが難しい。図書館から本を借りることはできるのか。

(事務局) 美和図書館には団体貸出しという1回100冊まで長期間貸し出すことができる制度があり、実際に利用している小学校もある。

(委員) 例えば美和図書館で借りた本を児童館で返却したりする交流はあるのか。また、児童館が美和図書館に対して本のリクエストや予約ができるようにするなど、場所を広げていくのはどうか。そうすると1か所を重点的に整備すれば、本の蔵書や幅が広がることにつながらないか。

(委員) 今委員が言われたことについて、公共図書館・学校図書館・児童館など全部の施設でシステムが連携すれば良いと思う。愛西市では指定管理者で移動図書館を実施していると聞いている。そういった事業の実施は難しいと思うが、せめてシステムの連携はできないか。

(事務局) この件については、美和図書館の指定管理者とどういったことができるか、問題点等を精査し、指定管理者との会議の中でできるものから議題として上げていく方向で考える。

(委員長) ぜひお願いしたい。

#### (2) 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果について

生涯学習課より説明

#### <質疑応答>

(委員) 1ページの2番、調査対象及び調査報告のエが抜けている。

(事務局) 修正する。

(委員) 2ページの間1に「乳児健診」と出てくるが、来年度は乳児健診という名称から「3～4か月児健診」に変更となるため、どのように表記するか担当課の職員と調整してほしい。

(事務局) 調整する。

→計画の素案では、「乳児健診（3～4か月児健診）」と記載する。

(3) 第三次あま市子ども読書活動推進計画（素案）について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

(委員) 冒頭の教育長あいさつの中で、「あまっ子」と記載があり、※印で「あま市に暮らす子どもたちのこと」と定義されているが、本市には教育立市プランで「あまっ子宣言」というものが別にある。その中であまっ子とは、「自らの判断と責任で諸課題に取り組むことができる力を備えたあま市の子どもに対する親しみやすい名称」と定義されているため、統一するかどうか検討してほしい。

(事務局) 検討する。

→あまっ子宣言の定義に統一する。

(委員) 目次の第2章「あま市における子ども読書活動の」とあるが、もともとの表題に「あま市の読書活動」とあるため、削除しても良いのではないかと。

(事務局) 削除する。

(委員) 第3章及び第4章について、「方針」と「方策」として分けているが、第二次では分けていない。分けた理由があるのか。

(事務局) 第3章では「方針」として大枠を説明し、第4章では「方策」として具体的な施策を説明するため。

(委員) 「方針」「方策」という言葉が本文では出てこないため、違和感を覚えた。本文中に出てくる言葉で章立てをした方が良いのではないかと。

(事務局) 修正する。

(委員) 2ページからのオススメ本紹介について、本の表紙や出版社を図書館が発行するもので出すことは良いと思うが、市が公のものとして出すことは大丈夫なのかといった危惧がある。

(事務局) 検討する。

→パブリックコメントでは現状のまま意見を募集し、第4回策定委員会までに検討する。

(委員) 18ページからの第2章について、①等の現状と課題からそのための対応に向けて矢印が引かれているが、少し斜めになっているように見える。まっすぐで良いのではないかと。

(事務局) デザインとしてあえて斜めに引いたため、修正するか検討する。

→修正する。

(委員) 番号付けについて、24ページの第3章は基本理念や目標が四角の1、次が(1)、中丸〇、(1)となっているが、14ページの第1章は四角の次に①となっているように、各ページにおいて番号付けの方法が異なっている。整理

して統一してほしい。

(事務局) 統一する。

(委員) 18ページ及び19ページの第2章について、表中の「年長児保護者」が年長「者」保護者となっている。

(事務局) 修正する。

(委員) 第二次計画を推進していくにあたっては、コロナによる影響が大きかったと感じた。ブックスタート事業でも、コロナ禍のため読み聞かせができなかった時期があり、その間の絵本をもらっただけのお母さんは「何の本をもらったか」等ブックスタートに関する記憶が薄い。そういったことを今回の第三次計画で何か盛り込めないか。

(事務局) 読書活動推進以外のことであっても、コロナによる影響は大きく、今後どのように実施していくかは大切であるとする。今後検討する。

(委員) 79ページについて、「あま市国際交流協会はじめ本」とつなげて読んでしまったため、読みやすいよう表記を検討してほしい。

(事務局) 修正する。

(委員) 表紙とイラストは美和高校の生徒に書いていただいたことは巻末に記載がありますが、生徒の名前は掲載しないか。また、生徒は美術部所属か。

(事務局) 募集の際、美術部等の制限は設けていない。名前の掲載について確認する。  
→生徒の名前を掲載する。

(委員) 生徒の名前を記載するのであれば、イラストに関して「コピーまたは転載不可」の言葉を入れた方が良いのではないか。

(事務局) 追記する。

(委員) 80ページ及び82ページの法律及び要綱ですが、漢数字と算用数字と表記が異なっている。そのまま転記しているとは思いますが、見栄えの問題として表記は統一するのか。

(事務局) 法律と要綱については、原文通り掲載することが重要と考える。再度原文を確認し、その通りに掲載する。

(委員) 29ページからの第4章の中で、「レファレンスサービス」という言葉が何回か出てくるが、レファレンスサービスについての説明書きが33ページにしかなく、最後の方まで読まないと言葉の意味が分からない状態になっている。最初に言葉が出てくるところに説明を入れた方が良いのではないか。

(事務局) 修正する。

(委員) 30ページ学校の役割の文の中で、4行目の朝読のみ鍵括弧がなく、「読み聞かせ」「おはなし会」にはあるため、並列であれば同様に表記したほうが良いのではないか。

(事務局) 並列であるため、修正する。

(委員) 31ページの「あま読書の日」「子ども読書の日」「読書週間」について、あま読書の日は前のページに10月21日と記載があるが、その他の日の説明がないため、記載したほうが良いのではないか。

(事務局) 言葉が最初に出てくる部分に説明を記載する。

(委員) 36ページ「あなたの家の人は普段本を読みますか」というアンケート結果のグラフについて、項目ごとの範囲がわかりにくいため、表記を工夫してほしい。

(事務局) その他のグラフも含め、修正する。

(委員) この計画はカラーになるのか。

(事務局) 表紙はカラーの予定である。本文については、予算の都合もあるため検討する。

(委員) 扉絵だけでもカラーになると良いと思います。

(委員) 各章の扉絵が入るページには、基本的にページ数が入っていないと思うが、39ページ参考資料のみページ数が入っているため、統一してほしい。

(事務局) 扉絵のページにはページ数を入れない方向で統一する。

(委員) 学校司書の表記について、以前「図書支援員(学校司書)」と表記するという話があったと思うが、34ページでは学校司書と記載されている。他のページにも出てくるため、表記を統一してほしい。

(事務局) 「図書支援員(学校司書)」と統一する。

(委員) 79ページのヒアリングメモについて、「学校図書館にいつも本を手渡す人がいないこと、本があるだけでは子どもたちは本を読むようにならない。また学校に図書を購入する予算が少なく、子どもが読みたいと思える本が少なく感じる。」と記載されているように、学校図書館に行っても本をどうやって選んだらいいかわからない子もいる。学校司書が常駐できるようにならないか。人がいて、本を手渡すことができるように計画に盛り込めないか。

(事務局) 学校司書の配置については、予算にも関係してくるため、様々な部署と相談しながら進めていくことになると考える。ヒアリングメモについては会議用に参考として掲載しており、実際に素案を公開する際は削除する方向で考えている。

(委員) わかりました。

(委員長) 今委員が言われた「人がいて」ということは非常に大事だと考える。人づくりということが今後計画のどこかに入れられると良いと思う。

(事務局) 人づくりに関して、計画に記載する。

(委員) ブックスタート事業はとても良いものだと思う。その後のサポートとして、読み聞かせやおはなし会の案内は渡しているのか。

(事務局) 絵本と一緒に、関連する案内は全て渡している。

(委員) 33ページ図書館行政の役割の6行目、愛知県子供読書「活動」が抜けているのではないか。

(事務局) 正式名称を確認し、修正する。

→「活動」を追記する。

(委員) この研修会は、愛知県図書館が毎年児童図書館員等に対して、児童サービスの研修を行っているものである。この研修に美和図書館職員があまり参加していないように見受けられる。特に指定管理になってからその印象を受けるため、ぜひ参加してほしい。

(事務局) 研修会への参加について、計画への記載ではなく、美和図書館へ直接ご意見として伝える。

(4) パブリックコメントについて

生涯学習課より説明

<質疑応答>

なし

(5) その他

生涯学習課より説明

<質疑応答>

なし

### 3 その他

- ・第4回策定委員会 2月を予定